

みらい通信

市民派・チームみらい
杉山元則 古川明美

事務所 蘇原六軒町 2-9
電話 383-2900 FAX260-8233

「地域で子育て」をモットーに市民活動を行ってきた私は、子どもたちの未来を守りたい思いで4年間走り続けてきました。初議会から欠かすことなく一般質問を行い、議会ごとにみらい通信、市政報告、街頭活動など、地に足をつけた活動を心掛けてきました。

そして、この4年間、共に考える人の輪を広げることを目標にたくさんの種を蒔いてきました。「議会傍聴にいくね」「みらい通信読んでるよ」「議会をチェックする責任があるね!」「政治は暮らし」と気づき自分にできる行動へとつながる。それが主権者意識。

お任せではなく共に考える人の輪が確実に増えています。

有権者の意識を変えていくことは、議員の役割です。岐阜県知事選、各務原市議選、各務原市長選に向け、少しでも投票率が上がるよう、皆さんと一緒に考えていきたいです。



地球を守ろう!

私が実現したいこと! まちづくりは人づくり!

将来のまちづくりを担う、子どもたちの未来を全力で守ります!

- 豊かな大地、きれいな水と空気。すべての生き物が生存可能な地球を残すために、環境問題を市民一丸となって取り組める学びと実践に取り組みます。
- いじめ、不登校、自殺が増え続けています。生きづらさを抱えて生きている子どもたちに「自分らしく生きていい」ことを学べる、包括的性教育=人権教育を推進。
- 市民と決めるまちづくりを目指し、市民活動支援センターの設置。市民が主役!
- 安心して子育てできるように、産前産後の母子に寄り添うマイ助産師制度の推進。

任期最後の一般質問は集大成! 請願の代表紹介議員として市民の願いを訴えました。

①地球温暖化対策について



②包括的性教育について



各務原市として環境問題に対する宣言を!求める

●古川質問

国は「2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする」と宣言しました。そのハードルはとて高く、市民ひとりひとりが、意識を変えて、生活そのものを見直していかなければ達成は不可能です。コロナ危機と気候危機。この二つの危機を乗り越えるためには自治体による強いアピールは必須です。

宣言をすることは、自治体の覚悟であり、決意表明となり市民に与える影響は大変有効と考えます。本市の考えは。

●市の答弁

各務原市温暖化対策地域推進計画は同様の趣旨。趣旨に沿って取り組みを進めますので宣言は考えていない。

今こそ、性教育=人権教育を!

●古川質問

コロナ禍の中、望まない妊娠、性犯罪、DV、虐待、特に女性の自殺者が増加しています。教員のわいせつ行為等 性犯罪と性暴力の報道は後をたちません。ジェンダー、多様性、出産や育児、恋愛や人間関係、幸せに生きるための包括的性教育を学べていないことが性に関する社会問題の大きな要因のひとつです。性教育の在り方をいくつか問いました。

●市の答弁

性教育の手引き見直しを図ります。性に関するアンケート調査、中3以外の学年でも検討していきます。手引きの改定によりデートDV防止対策は教育委員会の担当となります。

この問題に対して市民から952人の署名とともに請願提出
しかし市議会是不採択。。

国に核兵器禁止条約の署名と批准
を求める請願を市議会是不採択!

自分にできることを頑張ろうと、952人の署名を集め、会派を超えて何人かの議員と直接会い「賛同して下さい」とお願いして回る請願者の姿に私は胸を打たれました。

しかし、大筋合意、方向性は同じですが、一部賛同できないと不採択でした。その他5つの請願も全て不採択でした。そして、この4年間全ての請願が不採択です。

憲法で国民の基本的権利の一つとして保障されている請願権。

概ね合意ではあるが不採択となる場合が幾度となくありました。

「一部採択」や「継続審議」など必要な措置を講じて、市民の願いに対し、誠実に政治的責任を果たせる議会でありたいと思います。

条約批准国が50カ国を超え、「核兵器禁止条約」が2021年1月22日に発効されます。保有国と非保有国のパイプ役、核軍縮が現実的と国の方針に従う理由の最大会派を含む議員20名が請願に反対。(チームみらいは賛成)各務原市議会として核廃絶に向けて、ひとつになれることを願います。

日々の活動はブログ
「なないろ通信」 古川あけみ←検索

